

学校と家庭と地域をつなぐ

稚内中央小学校 学校だより

中央小だより

中央小は3あ運動
あいさつ・あんぜん・ありがとう

一学期を終了するにあたって

〜中央小っ子達への激励に感謝して

稚内市立稚内中央小学校

校長 今野 亘



昨年度末から感染拡大が続いていた新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度はいろいろなところに大きな影響が出ています。

小学校生活のスタートをみなまでお祝いしたかった入学式は、新入生と保護者、教職員のみでの開催となりました。六年生のリーダー性と各学年の集団づくりをめざしている運動会は、密集が防げないことから今年度は中止としました。子ども達はもちろん保護者・地域の方々が楽しみにしている行事が実施できずとても残念な思いがしています。

また、PTA総会等のPTA活動や保護者の方々に子ども達のがんばりを見ていただく参観日も、まだ実施できない状況が続いています。世の中は少しずつもとの生活に近づいていますが、ウイルスが完全に終息したわけではなく、これからも感染リスクを考えながら、学校は「学校の新しい生活様式」をもとに、工夫・改善を図った教育活動を進めていかなければいけません。皆様にはどうかご理解をいただき、これからも中央小学校の教育活動に多大なるご支援ご協力をよろしく願います。

このような中ですが、一学期を振り返ってみると、子ども達の頑張る姿もたくさん見られました。学習面では、授業規律もしっかり身につけていて、授業に集中して取り組んでいる姿がどの学級でも見られました。特に高学年の子達のがんばりはいつも輝いていました。また、マスクの着用や手洗いの実施等、感染症対策も真面目にきちんと行っていました。一学期もまだまだこのような状況が続くと思われませんが、様々な規制がある中での教育活動の中にあっても、いつも子ども達一人一人のかけこみよく輝く姿をめぐっていていきたいと考えています。

さて、この一学期は新型コロナウイルス感染症の影響で、四月二十二日から臨時休校となり、六月の通常登校が始まるまでの間、学校での教育活動が実施できない状況にありました。この分の学習を保障するため、まずは一学期の授業日数を増やすことにしました。そして年八回の土曜授業日を設定し、学習内容の定着に取り組みます。

このようなことから、夏季休業は例年より一週間ほど遅い八月一日から始まります。いつもの年より夏休み期間は減ってしましますが、子ども達みんなが元気に充実した二学期にするためには、この夏休みの過ごし方が重要になってきます。

まずは、いつも以上に勉強をしっかりと頑張ること。自分の生活の中に勉強する時間をしっかりと確保して、復習に力を入れてほしいと思います。一学期に勉強したことを一つ一つ確認しながら、自分の苦手なことに挑戦することが、充実した楽しい二学期にする最大のポイントです。



次に、生活リズムを絶対に崩さないこと。

一学期の生活アンケートでもスマホやゲーム等のメディアの使い方が大きな課題の一つになっています。夏休みは普段の日よりもゲームなどの使用時間が多くなり、そのことが生活リズムの乱れや学習への意欲が失われる大きな原因になりがちです。使い方の「三つの約束」を各ご家庭で子ども達と確認していただきながら、子ども達が規則正しい生活ができるよう、家族みんなで考える大切な機会にして欲しいと考えています。

そして、事故や怪我には十分気をつけること。元気で健康な体でなければ楽しい二学期にすることはできません。事故や怪我はもちろん、新型コロナウイルス感染症に罹らない対策を家族みんなでしっかりと取りながら、ぜひ、楽しい充実した時間を過ごすようにしたいと思います。

一学期も中央小っ子達の元気な挑戦が続きます。保護者・地域の皆様には、今後とも子ども達へのたくさんのお励みをいただきますよう、重ねてお願いいたします。一学期間、本当にありがとうございました。